

## 第1部(課題部門)

## 豊中市長賞

中将 住村 太 福岡県



能舞台で使えます。良いのですが鼻・眼と口のバランスが悪く癖などがあります。眼は良いのですが、清経には向かないようで、榎とか須磨源氏などの高貴な人に使えるでしょう。

## 豊中市教育委員会賞

中将 古濱伊津子 奈良県



舞台に使えます。色・表情も良い、90%以上の出来です。お上手です。もう少し軽くすればよいと思います。面袋が白では表情がぼけてしまいます。赤の面袋の上に置くと引き締まって見えます。このような配慮も必要でしょう。口が笑っているように見えるのが気になります。

## 第1部(課題部門)

## 審査員特別賞

中将 田水 満 大阪府



舞台で使えます。表情も良い、色は多少黒すぎるように思われますが、裏面の彫り、重さも悪くない。ただ、鼻の下から口の窪みが深すぎ、角度により影ができる、髭の濃い人のような感じが出てしまう。

小面 原田ちよ子 愛知県



良い面です。舞台でツレ面として使えます。清経のツレは余り愛らしくてもだめです。近くで見ると、遠くで見た方が表情も良く、彩色も彫りも良いのですが、現在ものに使うより妖艶な役に向いているのではないのでしょうか。

## 第2部(自由部門)

## 豊中市長賞

神体 相良 悟 福岡県



舞台に使えます。ただし、神体ではなく、任士系や平太に使える面で、神体としては使えません。能面として良くできています。神体としては眼も口も力がありません。彩色も、神体ではあるが、幽霊ではないのです。白すぎると幽霊になってしまいます。しかし、色を変えると平太のようになってしまう可能性もあり、神体の彩色が求められます。

## 豊中市教育委員会賞

節木増 松本二三年 福岡県



舞台で使えるが、もう一工夫ほしい。彩色が少し黒すぎです古色を抑えたほうが良いでしょう。良くできているので、色を工夫すればもっと良くなるでしょう。舞台に出て使ったゆけは変化するかもしれません。

## 第2部(自由部門)

## 審査員特別賞

赤般若 亀井 紀夫 福岡県



良い作品です。舞台で使えます。良いのですが、眼が真ん中によっている感じがします。眼の向きも考えてほしい。角は根元部分が少し細い感じでバランスが崩れています。赤般若はもう少し耳がとんがっていても良いでしょう。眼さえ直せば舞台で充分使えます。口の表情もシャープで良いと思います。裏の当りも良い。

逆髪 住村 太 福岡県



舞台で使えます。もう少し強さがほしいですが、使っているうちに変わってくる可能性もあります。彩色は白っぽいく平面的です。本物は白く見えますがもう少し黒い、白を意識しすぎた彩色になっています。眼のあたりなどはもう少し汚しても良いでしょう。逆髪は特徴を出そうとして失敗する面が多いようですが、この面は素直なよい面です。